

「生見尾踏切」安全対策ニュース

～ 踏切の安全対策のため「こ線人道橋」を整備します ～ 発行：横浜市道路局

横浜市では、生見尾踏切の安全対策に関する情報提供を行うため、安全対策ニュースを発行しています。

意見交換会の開催について

生見尾踏切の安全対策につきましては、昨年 8 月の事故以降、地元のみなさまの御協力をいただきながら、様々な案について検討を進めてきました。

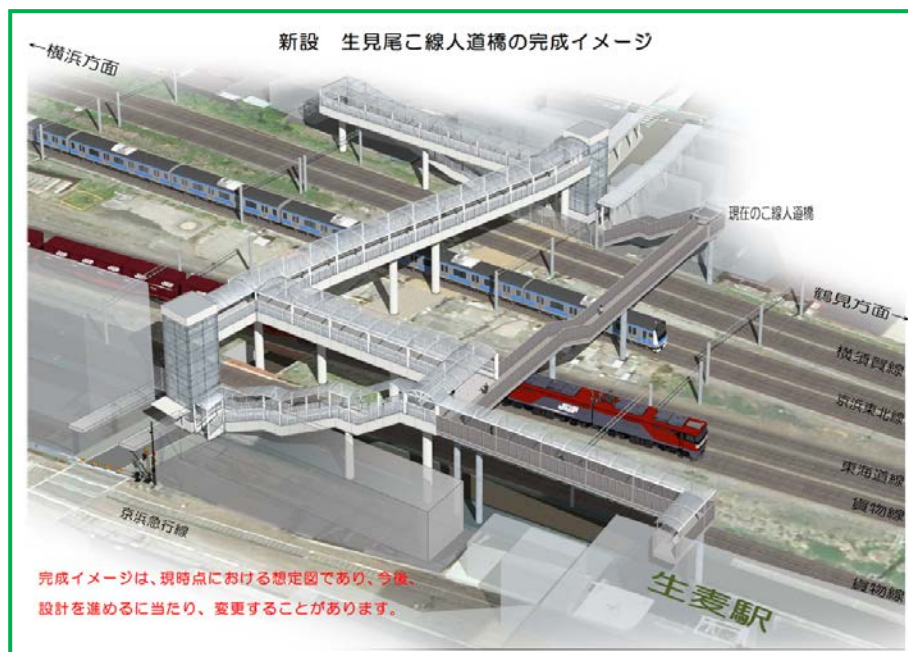
そこで、これまでの検討状況の説明をさせていただくとともに、市民のみなさまの御意見を広く伺いたく、次のとおり意見交換会を開催させていただきます。

- 1 日時 **平成 26 年 11 月 22 日（土） 午後 6 時～8 時**
- 2 場所 **生麦地区センター 体育館 鶴見区生麦 4 丁目 6-37**



※当日は体育館で夜の開催となりますので、暖かい服装でお越し下さいますようお願い申し上げます。

横浜市が提示している完成イメージ



裏面あり

これまでに頂いた主な御質問と回答

Q 1	津波がきたら狭い階段に人が集中するのではないか？
A 1	鶴見区の防災計画では、津波警報による避難勧告・指示等が発令された場合の 避難場所 を「 海拔 5 m 以上の高台 又は 鉄筋コンクリート造等 、かつ、 地震の揺れに対し被害の少ない建物の 3 階以上の階 」としています。また、鶴見区内では、避難に適した鉄筋コンクリート造等の 3 階建以上の堅牢な建物 13 か所（平成 25 年 4 月現在）が「 津波避難施設 」として指定されています。さらに、他にも鉄道をまたぐ人道橋があるので、新しいこ線人道橋に人が集中することはないと考えています。
Q 2	鉄道を高架化出来ないのか？
A 2	生見尾踏切付近は、JR 線だけで東海道線、横須賀線、京浜東北線、貨物線の 4 路線 8 線が通っているので、費用、工期の面から鉄道の高架化は困難です。
Q 3	車を使うので踏切閉鎖は困る。踏切が閉鎖された時は、どこを通ればよいのか？
A 3	新子安橋、鶴見溝口線、現在施工中の岸谷生麦線（平成 28 年度完成予定）等への迂回をお願いします。
Q 4	生見尾踏切は横断する人や自転車が多いが、提示している案で渡り切れるのか？
A 4	総持寺こ線人道橋にも斜路付階段とエレベーターが設置されていますが、自転車利用の方（健常者）の多くは斜路付階段を利用されています。そこで、踏切調査を行った結果、斜路付階段と約 40 人乗りのエレベーター（自転車なら 4 台程度乗車可能）を併用することで、ピーク時においても横断は可能と考えています。 ※ピーク時の横断歩行者・自転車（平成 26 年調査結果の最大値） 歩行者 66 人／10 分間、自転車 37 台／10 分間

安全対策ニュース【VOL.1】を配布した時に頂いた主な御意見

配布日時：平成 26 年 10 月 1 日（水）13：00～18：30

配布枚数：約 1600 枚

【主な御意見】

- ・踏切を渡るのが怖い。安心してゆっくり渡れる人道橋を早く造ってほしい。
- ・事故は自己責任。昔からここにいる人の暮らしを無視しないでほしい。
- ・高齢な家族がいるので、この計画に賛成です。
- ・安全対策ニュースは、あたかも実施が決まったようにとれる。配布をやめるべき。
- ・車は、遠回りをすればよい。人が安全になればよい。
- ・死亡事故が起きる前に、早くやるべき。
- ・滝坂踏切の一方通行は解除できないのか。あそこが使えればよいのだが。
- ・自転車で横断するのに、若いときは何も感じなかったが、年をとった今は、あの凹凸を通るのがきつくなった。
- ・ベビーカーで急ぐときには危険を伴う。
- ・踏切を渡れない時間に渡っているバイクや車を取り締まれば、安心して渡れる。
- ・安全第一で総持寺のようにやってほしい。
- ・踏切が閉鎖されると不便になる。総持寺も開けてほしい。

御意見、御要望のある方は、下記連絡先にお問い合わせ願います。

横浜市道路局企画課鉄道交差調整担当 〒231-0017 横浜市中区港町 1-1

TEL：045-671-2792 FAX：045-651-6527 メール：do-tetsudou-umio@city.yokohama.lg.jp

お問い合わせ時間 9：00～17：00（土、日、祝日以外）

なお、この資料は「横浜市道路局企画課鉄道交差調整担当」のホームページでも閲覧できます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/doro/plan/rail-cross/20110530-pln-fumikiri5-index.html>